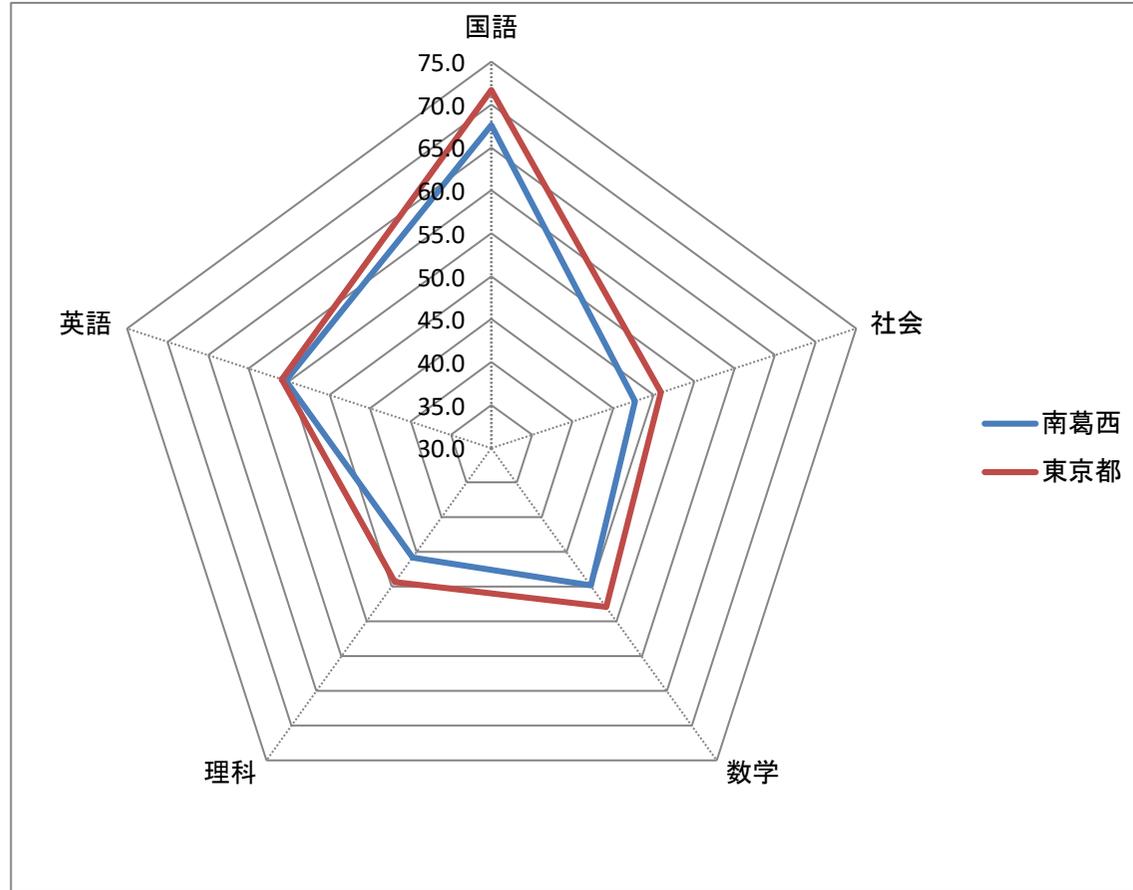


令和元年度

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」



＜現状把握＞

国語	全体的に都平均を4ポイント下回っている。特に「知識・理解」が低く、東京都平均よりも7.6ポイント下回っている。基礎基本の定着と再確認を行うことが急務である。また、資料の読み取りや読み解いた内容を書いて表現する力をつける必要がある。
社会	全体的にみると東京都の平均を3ポイント下回っている。A教科の内容は、思考・判断・表現、技能、知識・理解ともに下回っており、基礎基本を再確認する必要である。また、知識が定着していないので、技能、思考・判断・表現能力も向上していないと考える。
数学	全体的に都平均を3.1ポイント下回ってしまっている。観点別に見ると、A問題の思考・判断・表現では0.7ポイント、技能では4.0ポイント、知識・理解では4.2ポイント低くなっている。知識・理解、技能の定着を図ることが基礎・基本を徹底させる上で重要になってくる。思考・判断・表現が都の平均に近い値を取っているのは学年で行っている、実力テストレベルの週末課題による成果と考えられるため、今後も継続していく。
理科	全体的に都平均を下回っている。読解力が不足しているため質問の意図が理解できていない。そのために、十分に考察することができていない。理解以前の読解力を身につけることが急務である。とにかく基礎基本を繰り返し徹底していく必要がある。
英語	全体的にみると東京都の平均とほぼ同じポイントではあるが、A問題の知識・理解の項目において4ポイント下回っている。基礎的な文法の積み重ねが不十分だと感じる。新出文法だけでなく、既習文法、語句や表現についても、学習できる機会を授業に取り入れていく必要がある。

＜授業改善のポイント＞

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字小テストを継続し、基本的な漢字の読み書きを定着させる。また、「へん」や「つくり」などに注目し、漢字の意味を理解させられるよう工夫する。 内容を的確に、正しく読むための力をつける。 (資料の読み取り・語彙など) グループ活動を適宜取り入れ、話し合い・発表などの力をつける。 書く作業を通じての自分の意見を表現する機会を積極的に取り入れる。 	<p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート、ワーク、配布プリント等を活用する。 小テストを実施し、基礎的基本的な内容を定着させ、図や資料、グラフなどを活用できるような技能を身につけさせる。 小集団での活動を積極的に取り入れ、話し合い・議論・発表を大切に、思考・判断・表現が高まるように指導をしていく。 	<p>【数学】</p> <p>現在行っている完全習熟度別授業を継続し、基礎・基本の徹底を図るとともに、中間層には教科書レベルの問題、上位層には教科書のレベルを超えた発展的な問題を扱い、全体的な底上げを行っていく。また、宿題などによる家庭学習を充実させることで、学んだ知識や技能の定着を図る。</p>	<p>【理科】</p> <p>なるべく実験・観察を取り入れつつ、内容を最小限にとどめ、既習事項を何回も繰り返し確認して、基礎基本の徹底を図る。</p>	<p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯活動として、リスニング活動は継続し聞くことに慣れさせる。 習熟度別授業の為、そのクラスにあったコミュニケーション活動を取り入れる。その活動を新出文法だけでなく、既習の語彙・表現・文法事項を繰り返し活用できるような内容にし知識を定着させる。 教科書基本本文を聞いて書く (dictation) 活動をレッスン毎に行う。その基本表現を使って2～3文で表現する時間を授業の中で増やし、正しい文や適切な表現ができるように指導していく。
---	---	---	---	--